

DIA メディカル・アフェアーズフォーラム 2022

～ 医療を進展させるアカデミックパートナーを目指して ～

2022年9月2日(金) 10:00～18:30
WEB (Zoom Webinar) 開催

プログラム概要

今後の医療において、メディカルアフェアーズはどのような役割を期待されているのでしょうか。今年のフォーラムは、「医療を進展させるアカデミックパートナーを目指して」というテーマの下で企画しました。

COVID-19の感染拡大が続く中、メディカルアフェアーズ (MA) はアフターコロナを見据え、デジタルエンゲージメントの選択肢を手に入れつつあります。一方で、アンメットメディカルニーズを解決するためのエビデンス創出、医療従事者にとって真に必要な医薬品情報の提供および科学的な議論はMAの価値をさらに高めていく上で引き続き創意工夫ができる領域です。

今年2022年のメディカル・アフェアーズフォーラムでは、「医療を進展させるアカデミックパートナーを目指して」というテーマを掲げました。MA活動では様々な社内外のステークホルダーと協業し、製薬協が掲げているMAのミッションである「全ての患者さんへ最適な医療を届ける」を果たすべく様々な取り組みを進めております。今回のフォーラムでは、「デジタルヘルス」「Medical活動のエコシステム」「Medical Education」について取り上げます。基調講演及び各セッションにおいてはそれぞれの専門家から事例の共有を交えながら、最新の動向や現状の課題、今後の方向性などを深めていきます。さらにパネルディスカッションでは「MAが医療を進展させるアカデミックパートナーになるために？」をテーマに、様々な視点から皆さんと議論させて頂きたいと思っております。また本会終了後には、任意参加でテーマ別にChatting Sessionを行います。

企業のMA部門の方はもちろんのこと、MA部門と協働する企業の各部門の方、MA部門とコラボレーションをされているアカデミアの方など、一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

参加対象者

- 製薬企業のメディカルアフェアーズ部門担当者
- ファーマコビジランス担当者
- メディカルコミュニケーション担当者
- メディカルインフォメーション担当者
- 臨床開発担当者
- データベース事業担当者
- マーケティング担当者
- 規制当局の方
- アカデミア、医療機関における実用化研究に携わる研究者、医師
- このテーマに課題や興味を持たれている方

※ 講演及びディスカッションはすべて日本語資料及び日本語のみで行います。

※ ランチョンセミナー申込受付中!

詳細については、ディー・アイ・イー・ジャパンまでお問い合わせください。



Nihonbashi Life Science Building 6F,
2-3-11 Nihonbashi-honcho, Chuo-ku Tokyo
103-0023, Japan
Tel +81.3.6214.0574 Japan@DIAglobal.org

DIA Global Center: Washington, DC, USA | Basel, Switzerland |
Beijing, China Horsham, PA, USA | Mumbai, India | Tokyo, Japan



プログラム委員会

プログラム委員長

- グラクソ・スミスクライン株式会社
- 浦島 直

プログラム副委員長

- 千葉大学大学院医学研究院
- 三澤 園子

プログラム委員

- ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社
- 石堂 岳之

株式会社データック

- 二宮 英樹

サノフィ株式会社

- 杉本 義幸

ノバルティスファーマ株式会社

- 戸田 光俊

ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社

- 宇野 修司

アステラス製薬株式会社

- 渡辺 哲也

プログラムアドバイザー

- ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社
- 西馬 信一

DIA Japan Operation Team

- 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
- 宇都野 侑史

DIA volunteers, members, and staff provide a comprehensive catalogue of conferences, workshops, training courses, scientific publications, and educational materials, throughout the year, all around the world.

DIAglobal.org

10:00-10:15 開会の挨拶

一般社団法人 ディー・アイ・イー・ジャパン

西條 一

プログラム委員長/グラクソ・スミスクライン株式会社

浦島 直

10:15-11:10 基調講演 (1)

※途中、休憩含む

座長

アステラス製薬株式会社

渡辺 哲也

本邦におけるIME (Independent Medical Education) 活動の現在

一般社団法人 医薬教育倫理協会 (AMEE)

板垣 克典

AMEEの医師向け継続教育事業は、医師の基本的能力向上のために、学習ニーズのある医師に適した教育プログラムをネット上(自社サイト)で提供してきた。医学会との共催も実施している。製薬企業の支援は、契約に基づく協賛と位置付けて、利益相反の観点からも公正・中立性を担保して実施されている。本講演では、IMEプログラム実施・受講の実際とその課題についてご紹介したい。

11:10-12:50 セッション 1

※途中、休憩含む

座長

サノフィ株式会社

杉本 義幸

MA部門が実施するメディカルエデュケーション(ME):PhRMAポジションペーパーの解説と今後への期待

MSD株式会社

杠 哲也

MA部門が実施するMEは、医療従事者に学習の機会を提供し、医療に貢献する役割を果たしている。現在様々な企業が手探りでその内容や実施方法について検討を進めているが、MEに関する共通の理解や、規制の整備などの課題も残されている。PhRMAではMEのあるべき姿や今後の期待をとりまとめ、ポジションペーパーとして情報発信を行った。本セッションでは現在のMEを取り巻く環境及び課題を整理し、今後のMEのあり方について提起する。

メディカルエデュケーション (ME) 会合にかかわる製薬協MA部会の取り組み

グラクソ・スミスクライン株式会社

吉井 規敏

製薬企業が開催するセミナー・シンポジウムは医療関係者への医学・科学的情報の発信、提供および交流の場として広く認知、活用されている。多くの企業がMA部門主管のME会合を実施しているが、運用ルールが十分に整備されていない状況にある。製薬協MA部会では、企業がこれら会合を適切に企画運営できるように、関連する業界ルールや規制を整理・確認することを目的にタスクフォースを立ち上げ活動を行ってきた。活動の結果として、留意すべき点を成果物としてQ&Aに纏め、公表を行った。これらタスクフォースの成果物を概説し、メディカルエデュケーション会合の目指すべき方向性に関して触れる。

日本における医学教育の最新動向

千葉大学大学院

舗野 紀好

日本の医学教育は、国際基準に対応した質保証を行いつつ、文化や伝統に根を下ろし多様な場で活躍できる医療人養成に向けた取り組みがなされている。今回は、日本における医学教育の最新動向について全体像のオーバービュー(卒前教育、臨床研修、専門研修、専門医取得以降の生涯教育)、日米における医学教育の比較、卒後のニーズの経時的変化、さらには総合診療領域で実践されている教育活動の具体的事例を紹介していく。

12:50-13:25 パネルディスカッションおよび質疑応答

座長

サノフィ株式会社

杉本 義幸

パネラー

午前のセッション講演者および

千葉大学大学院医学研究院

三澤 園子

13:25-14:25 ランチブレイク ※ランチョンセミナー

13:30-13:50 Activaid株式会社



14:25-15:20 基調講演 (2)

※途中、休憩含む

座長

ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社

宇野 修司

医療ビッグデータの更なる利活用に向けて

内閣府 健康・医療戦略推進事務局

西村 卓

医療情報を活用して医療分野の研究開発を推進する次世代医療基盤法が施行されて4年程が経過した。これまで同法に基づき3事業者が認定を受け医療情報の収集及び利活用を推進してきた。同法に基づく医療情報の収集規模は200万人以上に及び一定の成果を上げつつあるが、更なる活用に向けた制度見直しを進めており、その議論の状況について説明する。

15:20-17:00 セッション 2

※途中、休憩含む

座長

ノバルティスファーマ株式会社

戸田 光俊

ICTを活用したエコシステムの理想像とMedical Affairsへの期待～製薬企業の立場から～

ノバルティスファーマ株式会社

張家 銘

循環器領域や呼吸器領域の慢性疾患では、適切な治療の継続と長期的な疾患管理が重要であると考えられています。ICTの活用により、治療アウトカム向上に向けた、医師の適切な疾患管理および患者の自己管理の推進に貢献できると期待されています。本演題では、製薬企業の立場から、ICTを活用したエコシステムの理想像、国内外にて実施された実例、そして、期待されるメディカルアフケアの役割、について紹介します。

我々が推進するPHR事業とそこから見てきたPHR普及の課題

株式会社インテグリティ・ヘルスケア

武藤 真佑

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う健康意識の高まりや情報端末の普及によりPHRを活用したデジタルヘルスサービスへの注目が増えています。日本政府もPHR活用のための基盤整備を進めており、マイナポータルから健康・療情報を閲覧できるように準備を進めています。2021年4月には「民間PHR事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針」も策定されました。これを背景に今後日本においてもこれらのサービス事業も拡大することが期待されていますが、実際に医療機関・利用者がPHRを有用・有効に活用するためには何が必要でしょうか。長崎におけるEHR/PHR連携や産業保健と保健診療をシームレスに組み合わせた我々の事業についてご紹介するとともに今後のPHRの普及の課題をお話します。

官・自治体・IT企業・製薬企業を繋いで目指す未来

DeSCヘルスケア株式会社

三宅 邦明

DeNAは2014年からヘルスケア事業に参画し、エンターテインメント・ITで培ったノウハウを活用することで行動変容を促すサービスや蓄積されたデータによるエビデンス創出に産官学で取り組んできました。また、直近では医療ICT事業のアルム社や自治体向けに強みをもつデータホライゾン社の子会社化を発表しています。これらの協働の在り方や事例について、厚労省・企業の両方を経験する立場から紹介させていただきます。

17:00-17:35 パネルディスカッションおよび質疑応答

座長

ノバルティスファーマ株式会社

戸田 光俊

ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社

西馬 信一

パネラー

午後のセッション講演者および

グラクソ・スミスクライン株式会社

浦島 直

17:35-17:40 閉会の挨拶

プログラム副委員長／千葉大学大学院医学研究院

三澤 園子

17:40-18:30 Chatting Session ※いくつかのテーマのグループに分かれ意見交換・ネットワーキングを行います。

ファシリテーター

アステラス製薬株式会社

渡辺 哲也

会議参加申込書

一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン Fax:03-3278-1313

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11
日本橋ライブサイエンスビルディング6F Tel: 03-6214-0574

DIA メディカル・アフエアーズフォーラム 2022

[カンファレンスID #22319]

2022年9月2日(金) | ※WEB(Zoom Webinar)開催

◆ 参加申込方法

DIAウェブサイト(www.DIAglobal.org)よりお申し込み頂くか、この申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメール添付Japan@DIAglobal.orgにてお申し込みください。受理後、10営業日以内にEメールにて申込受領書を送付いたします。

◆ 年会費及び参加費

会員資格が失効している方および非会員の方は、会員登録(更新)することにより、会員価格にてご参加いただけます。会員資格はお支払いいただいてから翌年同月末まで1年間有効です。DIA各種機関紙の入手、DIAウェブサイトの会員専用ページへのアクセス等、種々の特典も得られます。不明な点がございましたら、ディー・アイ・エー・ジャパンまでお問い合わせください。

① 年会費 ※2022年7月1日より改訂

現在会員でない方で、会員登録をされる場合は希望する年会費の欄に印を入れてください。

*参加費の早期割引価格は現会員の方または会員登録と同時に申し込みされる方のみにも適用されます。会員資格が失効している方および非会員の方は、ぜひこの機会にぜひご登録ください。

**アカデミア会員資格にお申し込みの方は、本申込書をディー・アイ・エー・ジャパンまでFAXもしくはメールにてお送りください。

Membership (有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 27,346 (税込)
2-Year Membership (有効期間:2年間/10%割引)	<input type="checkbox"/>	¥ 49,223 (税込)
Academia Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:1年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 20,205 (税込)
Academia 2-Year Membership ** (対象:大学関係・医療従事者、有効期間:2年間)	<input type="checkbox"/>	¥ 36,369 (税込)

② 参加費

所属カテゴリと会員資格の有無により異なりますので、該当欄に印を入れてください。

会員	一般	早期割引:2022年8月19日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 27,845 (税抜)	¥ 30,630 (税込)
		2022年8月20日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 30,727 (税抜)	¥ 33,800 (税込)
政府関係 非営利団体 大学関係 医療従事者	一般	早期割引:2022年8月19日までのお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 13,000 (税抜)	¥ 14,300 (税込)
		2022年8月20日以降のお申込み	<input type="checkbox"/>	¥ 15,000 (税抜)	¥ 16,500 (税込)
非会員	一般		<input type="checkbox"/>	¥ 47,545 (税抜)	¥ 52,300 (税込)
	政府関係/非営利団体		<input type="checkbox"/>	¥ 31,200 (税抜)	¥ 34,320 (税込)
	大学関係/医療従事者		<input type="checkbox"/>	¥ 25,927 (税抜)	¥ 28,520 (税込)

③合計金額(①+②): 合計 _____ 円

DIA Japan 使用欄	
Date	
No.	
受領書 送付	
Invoice	
入金	

◆ お支払方法

ご希望の支払方法にチェックを入れてください。

銀行振込 請求書を送付しますので、その案内に従って振り込み手続きを行ってください。

クレジットカード 使用可能クレジットカード(いずれか1つにチェック) VISA MasterCard JCB

カード有効期限(mm/yy) _____ カード番号 _____

カードご名義 _____ ご署名 _____

ご入金の際は、ご依頼人の欄に必ず参加者名または請求書番号を記載してください。同一会社で複数名の参加費を同時に振り込まれる場合は、書面にて参加者名と振込日をディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください。振込に関する手数料は、振込人負担でお願いいたします。

アルファベット(英語)でご記入ください

Last Name (姓) Dr. Mr. Ms. First name (名) _____ Company _____

Job Title _____ Department _____

Address _____ City _____ State _____ Zip/Postal _____ Country _____

Email (必須) _____ Phone Number (必須) _____ Fax Number _____

* 参加のキャンセルは、お申し込み受理後、2022年8月4日までは手数料として一般会員・非会員とも10,000円、政府/大学関係者については会員・非会員とも5,000円を申し受けれます。それ以降のキャンセルについては参加費全額を申し受けれますのでご注意ください。同一会社からの参加変更は可能ですが、その際はお早めにディー・アイ・エー・ジャパンまでお知らせください(会員資格の譲渡はできませんので、非会員としての参加費を申し受ける場合があります。)参加をキャンセルされる際には、必ず書面にてディー・アイ・エー・ジャパンまでご連絡願います。会場は変更される場合がありますので予めご了承ください。

* DIA主催の会議には、必ず登録者ご本人にご参加いただくよう、お願いしております。

* 本会議では、DIAの宣伝活動に使用する目的で、開催期間中に参加者を含む映像・写真を撮影することがあります。本会議の参加者は、DIAが記録した映像・写真等について、DIAの宣伝資料、出版物及びインターネット等への掲載その他一切の利用に係る権利(肖像権、パブリシティ権等を含みます)はDIAに帰属することを認め、DIAが無償で任意に利用できることを承諾するものとします。

[DIAが取り扱う個人情報について] お申し込みいただいた個人情報はDIAからの会議案内送付等の目的に使用させていただきます。また当日は、ご参加いただく皆様の会社名または組織名とご氏名を記載したリストを参加者・講演者・関係者(プログラム委員)に限り配布する場合がございます。本申込書の提出をもって以上の個人情報のお取り扱いご同意いただいたものと解釈いたしますが、ご同意いただけない場合はDIA Japanまでご連絡ください。